

Yamato Welfare Foundation  
ヤマト福祉財団

ヤマトグループ賛助会員向け  
ニュース(季刊)  
発行部数13万部・非売品

2020.4.20 Spring

No.  
66

# NEWS



巻頭企画 山内理事長にインタビュー

「自立して生活することで  
幸せを感じられる」を大切に



鎌志郎さん直筆の色紙とともに

## 障害者就労、 ダイバーシティ就労と わが息子

### Profile

1977年労働省入省。労働省統計調査第一課長、職業能力開発総合大学校教授などを経て、現在、一般社団法人ダイバーシティ就労支援機構代表理事、NPO就労継続支援A型事業所全国協議会(全Aネット)顧問。専門は障害者の雇用・就業問題、職業教育訓練政策。著書に『障害者の福祉的就労の現状と課題』(松井亮輔法政大学名誉教授と共編著)など。

平成元年9月28日に生まれた長男の鎌志郎は、筋ジストロフィーという、筋肉細胞が徐々に壊れていく難病を患っていました。もう少しで遺伝子治療を受けられるのではと期待していましたが、昨年7月29日、30歳の誕生日が後2カ月というところで旅立ってしまいました。プールが好きな子でプール通いが私の楽しみでした。まわりの皆が笑顔となる明るい子でした。葬儀には、延べ300人を超える方々にご参列いただきました。ほとんど鎌志郎をよく知っている人たちで、鎌志郎は、何と多くの方々にも、可愛がっていただいたのだと改めて感謝しています。

さて、私が代表理事をつとめる(一社)ダイバーシティ就労支援機構(<https://jodes.or.jp/>)は、日本財団から「日本財団WORKI DIVERSITY(ダイバーシティ就労プロジェクト)」を受託しています。ひきこもり、貧困母子世帯、刑余者、生活困窮な高齢者など、何らかの事情で働きづらさを抱える人々が日本にもたくさんいます。

こうした人々が就労することで、本人やまわりの人々の幸福度が高まる。多くの働きづらさを抱える人々を就労につなげる本格的政策を打ち出すことは、これからの日本社会をよくしていくことになる。こうした思いで、一昨年11月にこの日本財団プロジェクトがスタートしました。複数の委員会、部会での検討、各分野の専門家からのヒアリングを実施中で、新たな就労支援策の効果を実証するためのモデル事業を近く開始予定です。

諸外国の「障害者」は、社会的障害者等も含むように変わってきています。日本も従来の狭い障害者概念を広げる時期になってきているのではないのでしょうか。本プロジェクトが日本の障害者就労施策の進展にもつながるものになればと思っています。

長男の鎌志郎は、私と障害者就労との縁をつくってくれました。ダイバーシティ就労はその延長線上にあります。今後とも、鎌志郎がどこかで見守ってくれていると信じ、障害者就労、そしてダイバーシティ就労の推進に頑張りたいと思っています。

※障がいの表記について：本コラムは著者の表記を尊重しています。

## CONTENTS

表紙写真 巻頭企画で、インタビューに応える山内雅喜理事長(ヤマト福祉財団にて)

03 巻頭企画 山内理事長にインタビュー  
「自立して生活することで  
幸せを感じられる」を大切に

06 2020年度助成金事業  
2020年度は6団体が  
ジャンプアップ助成金に選定されました。

10 自然栽培パーティ第4回全国フォーラムin滋賀  
農業を仕事に、成長し楽しむ利用者さんに「農福師」の称号を  
助成先レポートVol.41

14 (社福)みなと福祉会 わーくす昭和橋(愛知県名古屋市)  
地域の魅力を詰め込んだ「究極の肉まん」

16 この街で、一緒に生きていく。障がい者のクロネコDM便配達事業  
仕事で芽生えた自信がみんなをたくましくしていく。



日本障害フォーラムが  
推進するイエローリボン  
運動に賛同しています。

山内理事長にインタビュー

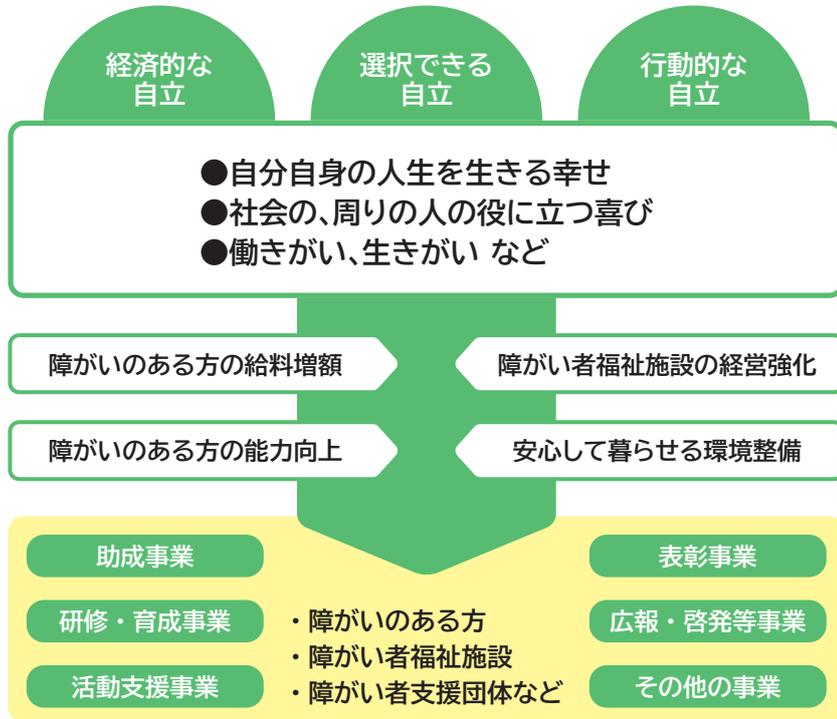
# 「自立して生活すること」で

# 幸せを感じられる」を大切に

本年度、ヤマト福祉財団は、どのような活動を計画しているのか、賛助会員や社員のみなさんの心のこもった寄付がどのように活用されていくのか。山内理事長に、今後の方針などを語っていただきました。



## 障がいのある方の「三つの自立」の実現へみなさまからの寄付をしっかりと役立てます



### 「三つの自立」が実現できてこそ働きがい、生きがいも生まれてくる

「まず、山内理事長が就任されたとき「人は、自立して生活することで幸せを感じられる。これを大切に」とお話しされました。山内理事長の考える自立とはどういうものでしょう？」

「社員手帳の企業姿勢には「地域社会から信頼される事業活動を行うとともに、豊かな地域づくりに貢献します。特に、障がいのある方を含む社会的弱者の自立支援を積極的に行います」と書かれています。この障がいのある方の自立を具体的に支援していくのが、ヤマト福祉財団です。私は、自立するとは「自分がこの社会で自分としてしっかり存在していることを実感できること」だと考えています。これは小倉昌男さんの考え方を受け継ぐものです。どんな人も、障がいのあるなしに関係なく、周りの方たちに支えられ、また支えながら暮らしています。それは相互に必要とし必要とされる関係です。一方的に寄りかかり守られているだけでは得られない大切なものがあるはずなんです。」

「それを障がいのある方にも得てほしい。」

「それには三つのことが必要だと考えています。一つは、生きていくための、暮らしていくために必要なお金を自らの力で得る「経済的な自立」です。二つ目は、人に言われた通りにするだけでなく、自分の意志をもってしたいことを決めることができる「選択できる自立」。最後は、通勤したり買い物や食事、身の回りのことを一人でできる「行動的な自立」です。この三つができてこそ、自分の人生を生きているという実感が湧き、そこから働きがいや生きがいも生まれてくるのではないのでしょうか。それを大切に考え支援するために必要な環境や仕組みづくりを整えていきたいと考えています。」

### 経済的な自立のための支援を柱に

### 私たちにできることをより拡大したい

「では本年度は、具体的にどのようなことに取り組まれていくのでしょうか？」

「基本的には、これまで焦点を当ててきた経



働く喜びや

誇りを実感できる仕事を

支援します

経済的な自立の支援に関わる事業を柱として展開します。たとえば、その一つが夢へのかけ橋実践塾です。現在、弁当配食事業とDM封入封かん事業で給料増額などに優れた実績を上げた二人の小倉昌男賞受賞者が塾長となっており、塾生たちは、塾長の持つさまざまなノウハウを自分の施設に取り入れ、生産性や売上の向上を目指しています。また、パワーアップフォーラムでは、福祉施設を取り巻く最新情報、利用者さんの新たな仕事の創出に結びつく事例などを発信。全国各地の福祉関係者や一般の方も多数参加できるように、今年も複数会場での開催を計画しています。

：強化していく点などはあるのですか？

「パワーアップフォーラムでは、サービスをすすめる、経営をする時に考えなければならぬ、コツやセオリーなど、企業サイドから見たノウハウや経験も伝えたいと考えています。さらに、会場で出会った施設職員たちが、情報交換し悩みを相談し合える、そんな内容も取り入れたいですね。互いに明日への元氣や勇気を共有し合える交流の場としても拡大していきます」。

：利用者さんと職員の両方を応援したいと。

「職員のみなさんは、利用者さんのために我々には想像もできない努力をされています。そんな支援を受けて社会で自立をはじめた方たちとも、ヤマト自立支援センター・スワン工舎卒業者の集いでお会いできました。みなさんとても良い表情をしていますね。話を聞いてみると、つらいときもあるけれど、自分のやっていることをほめてもらえるから頑張れる。そして、一緒に働く仲間と、地域社会に役立っているこの仕事を、今後も続けていきたいと楽しそうに教えてくれました。それをうれしそうに見守る親御さんの姿も忘れられません。そこで強く感じ

たのが、働く喜びや誇りを利用者さんがより実感しやすい仕事を広げていく必要性です。自然栽培パーティが進めている農作業は、その具体的な仕事の一つだと思えます。クロネコDM便配達も好事例ですね。この領域は、この仕事は有効だと思えるものをいろいろな角度から発見し、支援しようと考えています」。

：先ほどお話いただいた三つの自立につながるっていく内容ですね。

「三つの自立を実現するためには環境や仕組みをつくるための支援も必要です。そこで、本年度からジャンプアップ助成金の仕組みを变えることにしました。これまでは、生産性を上げるなど、給料を上げるための事業資金の助成に限定していましたが、しかし、利用者さんが働く喜びを感じるための職場づくりなど、数字には見えない大切なこともたくさんあります。そこにも間口を広げて助成をしていきます」。

**グループにも本財団にもしっかりと**

**息づいている小倉昌男のDNA**

：いろいろな変化していきますね。

「障がいのある方を取り巻く社会や環境は刻々と変化していますから、柔軟に対応していかなければなりません。しかし、どのように時代が変わろうとも、ヤマトグループの根底にある、みんなが幸せになれる豊かな社会の実現に貢献する、この方針が揺らぐことはありません。いま世界中が、持続可能なより良い世の中を目指すSDGs(エス・ディー・ジーズ)に注目しています。ここでは、性別も人種も障がいの有無も関係なく、誰一人取り残さないことを国際目標に掲げています。でもこれは、小倉さんがすでに提唱してきたことだと思いませんか。すべての人が幸せを感じられる社会を目指

## 2020年度 ヤマト福祉財団事業計画

### 1. 助成事業

#### ① 奨学金

障がいのある大学生に返済不要の奨学金給付

#### ② 助成金

障がい者の給料増額につながる設備・備品購入資金  
障がい者の福祉に資する活動資金(講演会・研修・文化・スポーツ等)

### 2. 研修・育成事業

#### ① セミナー事業

障がい者の働く場パワーアップフォーラム 全国4カ所開催

#### ② 雇用促進事業

障がい者施設にクロネコDM便配達を斡旋  
ヤマト自立センターの支援等、障がい者就労の拡大

#### ③ 育成プロジェクト

ヤマト福祉財団小倉昌男賞受賞者を塾長とする実践塾の開講  
自然栽培を推進する「自然栽培パーティ」の活動支援

### 3. 表彰事業

ヤマト福祉財団小倉昌男賞の贈呈

### 4. 広報・啓発等事業

#### ① 広報事業

財団ニュース年4回発行 ホームページ等

#### ② 啓発事業

障がい者本人によるクロネコDM便配達報告会の開催ほか啓発活動

#### ③ その他事業

- i 他団体等への活動支援
- ii オリンピック・パラリンピック関連事業
- iii ネパール小児白内障眼科医療に対する協力事業
- iv その他  
医的ケア児(者)の助成事業調査ほか

### 5. 復興・再生支援事業

大規模災害等で被災した障がい者就労施設の再生支援



パワーアップフォーラム



夢へのかけ橋実践塾フォローアップ研修



給料増額につながる福祉助成金



障がいのある大学生への奨学金給付



夢へのかけ橋実践塾

すといった考え方は、私たちヤマトグループ社員の心には、すでにしっかり根付いているのです。

「そうですね。いままでは、小倉昌男初代理事長とともに仕事をした社員は少なくなってきました。

「あの方は、弱きを助け強きをくじく江戸っ子気質の人でした。私は、かつてヤマトグループの企業理念策定プロジェクトのメンバーだった際、当時相談役だった小倉さんに、内容についてヒアリングしたことがあります。そのとき、社会的弱者の支援という言葉を聞きたい」と力強く語られていたのが印象的でした。そして、会社とは、世の中のために、人のために存在すべき公器である。そこで行う事業とは、人々が幸せになるために必要な商品やサービスを考え工夫し提供することであり、それを持続し続けなければならぬ。そこで働く社員は、みんなが幸せになれる社会を築く一員としての手応えや人生の誇りを持つことができる」とお話しいただきました。さらに、会社が出す利益とは、そのための活動費に過ぎないし、社員の幸せのために使うべきものなのだと、ヤマトグループらしさを創った小倉さんのDNAは、本財団にももろつきと息づいています。これからは、私

ちの活動をグループ社員の方にもご理解いただき、賛助会員として参加していただきたい願っています。」

**みなさんの心のこもった思いを  
みなさんが実感できる目に見える形に**

「最後に読者のみなさんにメッセージを。」

「本財団の活動は、賛助会員やヤマトグループからの寄付、労働組合からの夏のカンパなどで成り立っています。だからこそ、みなさんから寄せられた思いをしっかりと受けとめ、それがどのように活かされているのかを、みなさんの目に見える、みなさんが実感できる形にすることも大切な使命だと考えています。ヤマトグループは100周年を迎えましたが、地域の方たちに必要とされる存在意義のある企業として、これからの100年もヤマトらしくあり続けることが大切です。私たち財団もその一員として、障がいのある方が自立して生活をする中で、幸せを感じられるように「必要な支援を続けていきます」。

……

今回は、新型コロナウイルスの関係で企画を変更し、山内理事長への単独インタビューとなりました(編集部)

# 2020年度は6団体が ジャンプアップ助成金に選定されました。

福祉施設が「経済力」を兼ね備えることが、障がい者の真の自立には不可欠です。そのお手伝いとして、すでに障がい者の給料アップに実績がある事業所に対し、さらなる飛躍のための事業資金(500万円)を助成します。

## やすらぎ作業所(広島県呉市)

就労継続B型

### 作業部屋の改修と車両の購入

●2018年度平均給料 ..... 30,495円(21人) ●2021年度目標給料 ..... 34,483円(29人)

#### レモン加工作業の拡大による売上向上へ

やすらぎ作業所は、平成30年7月の西日本豪雨によって被災し作業場と休憩室が水没しました。所長の「ピンチをチャンスに変える」を合言葉にして何とか復旧し、前年度から始めていたレモンの加工作業を拡充したことによって同年度の平均工賃は3万円を上回ることができました。

広島県は全国一のレモン生産量を誇り、その需要も年々高まっています。しかし農家の離農や高齢化によって耕作放棄地が増加し人手不足の現状です。知り合いの農園さんから人手が不足しているレモンの加工作業(収穫・枝の剪定、計量、袋詰め、搾汁、黒点・内袋取り、箱詰め、発送など)を紹介され作業所として力を注いでいます。

売上を伸ばすためには手狭になった作業場を改修して効率をアップすることが必要です。さらに農園へは車で片道40分ほどかかりますが、生産性を向上するには人も荷物も効率よく移動できる車を新たに購入することが不可欠です。

安心・安全な広島のレモン加工作業を拡大することによって売上を向上し、工賃アップを実現させたいと思います。



## アルシオン (静岡県三島市)

就労継続B型

### 施設の改修と備品の購入

●2018年度平均給料 ..... 30,025円(24人) ●2021年度目標給料 ..... 40,000円(24人)

#### 「農福連携きのこ栽培」事業で 50,000円プロジェクト

就労継続支援B型事業所アルシオンでは、農家の人手不足を解消するために3年前からJA三島函南・三島市・農家と農福連携事業を行っています。また独自ブランドとして、うなぎ屋さんから出る残渣を堆肥化して無農薬野菜を作り、その野菜でパンやそうめんを商品化してきました。

今回、JAより地元で廃業した農家のきのこ栽培事業を継承する提案がありました。前向きに検討する中で壁となったのが作業場の問題です。既存施設は老朽化しており改修が必要でした。この新事業は障がいの重い方たちが担当する作業と考えています。そのためにも助成金で合理的な配慮を行い、作業をする方たちの安全・安心を確保していきます。

きのこ栽培の専門的な技術指導は、軌道に乗るまで廃業農家から受け、販路も沼津中央青果やJA三島函南のほか地域へも広げていきます。さらに規格外のきのこについては、同じ社会福祉法人のA型事業所が加工して販売する計画です。

このプロジェクトにより月額工賃を2021年度には4万円、2025年度には5万円に向上させることを目指します。



ヨモギ加工と新商品開発のための工場改装

- 2018年度平均給料 ..... 18,221円(85人)
- 2021年度目標給料 ..... 20,139円(120人)

ヨモギの「栽培から製造」までの一貫生産体制を



やろまいかは、B型作業所として、養鶏・製菓・インターネット古本販売・軽作業・パソコン作業などを行っています。製菓では草餅・プリン・クッキーを作っていますが中でも草餅の製造販売は売上全体の80%を占める主力事業です。草餅の開始は平成17年。「国産、手作り、無添加、無香料、無着色」であり「美味しくしてお値打ち」との評価が定着し、販売場所は大手スーパーなどを含めて14カ所になりました。

しかし売上が増大するにつれ課題も出てきました。一つはヨモギ加工処理場所の確保です。現在は事務所の食堂で行っているため人の出入りが多く、衛生管理が十分とは言えません。また、現状では自生しているヨモギの良質なもののだけの選別が難しく、さらに、市場での知名度はまだ低い状態です。

これらの問題を解決するために、助成金によってヨモギ加工工場を改装します。ヨモギを自前で栽培し、良質なヨモギを使った新商品を開発。さらなる売上拡大を目指す計画です。

アルコール冷凍機・冷凍庫の購入

- 2018年度平均給料 ..... 22,090円(25人)
- 2021年度目標給料 ..... 27,778円(27人)

キクラゲの販売促進で事業収益向上



合同会社ジョイファーム大分が運営する就労継続支援B型事業所ジョイファーム大分では農産物(イチゴ、イチジク、ナシ、プラム、キウイ)の生産、加工、販売とともに手作りパンの店を運営しています。

2018年には当社の「県内初!国内産さくらげ栽培を活用した障害者就労支援事業への取り組み」が大分県経営革新事業の認証を受けて翌年から生産を開始。現在流通するキクラゲの98%が中国産であり、国内産はほとんどありません。特に白キクラゲは料理人でさえ見ることの少ない、希少な高級食材です。収穫した白・黒キクラゲを生に近い形で長く保存して販売するためにはアルコール冷凍機・冷凍庫を利用することが最適であることが分かり、助成を活用して整備します。

現在、キクラゲの取引は県内の高級ホテルや高級料理店と行っていますが、冷凍機の導入によりこれを全国に広げることが可能となり、平均月額工賃の向上に資することは明らかです。

農業機械の購入

- 2018年度平均給料 ..... 123,047円(47人)
- 2021年度目標給料 ..... 130,208円(48人)

農業機械導入によるスキルアップで売上・賃金向上



スタート・ワーキング・サポートでは現在、繊維加工、自動車部品検査、農業、圧着端子検査などのさまざまな作業を行っています。この中で農業については地元農家の方々からのご厚意により田植え機、コンバイン、ビーンスレッシャーなどを借用して作業を行っております。しかし、借用であるために使用時期が遅れがちだったり、高額な機械であるために使用は作業に熟知した者に限定されるという制限があります。

そこで助成金を活用して農作業に必要な機械類を購入することにより、利用者に機械に慣れてもらうとともに売上を増加して賃金の向上を目指す計画です。自前の機械が導入できれば、植付の最適期に作業を行えるばかりでなく、作業時間を多く取れることで作付け面積の増加が見込めて耕作放棄地問題解消の一助となります。さらに、さまざまな利用者に機械操作に習熟してスキルアップする場を提供。農家の人手不足の手助けにもなります。平均工賃は3年間で12万円から13万円への増額を目指します。

弁当事業拡大のための設備整備

- 2018年度平均給料 ..... 35,836円(21人)
- 2021年度目標給料 ..... 47,615円(27人)

財団弁当塾で学び、配食サービス事業拡大へ



くまもと障害者労働センターの就労継続支援B型では、3年前まではカフェの運営部門、菓子の製造部門、営業担当の販売部門の3部門で事業を行っていました。しかし熊本地震により被災。カフェの運営から弁当事業へ転向しました。現在では1日80食まで増加してきましたが、旧カフェの設備をそのまま使用しているため動線や設備に課題があります。

そこで法人として新しく作業場を建設、助成でスチームコンベクション、IHジャー、ラピッドチラーなどの厨房機器を充実し、配達用の車両を購入することにより弁当事業を強化していきます。さらに法人職員が財団の弁当塾に参加し、弁当製造のノウハウ習得と売上増に取り組みます。

この構想は、当センター内にワーキングチームを結成し、弁当塾で学ぶPDCAサイクルを回すことによって確実に実現することを目指します。現在焼き菓子の営業で築いている販売ネットワークを活用して弁当は2021年度までに200食に増やす予定です。

# 2020年度福祉助成金事業 助成金決定事業所一覧

(助成金額合計：7,452万円)



## I. 障がい者給料増額支援助成金 決定一覧

### 1. ジャンプアップ助成金 (定額500万円)

単位(万円)

所在地	福祉事業所・団体名	助成対象	助成額
岐阜県海津市	やろまいか	ヨモギ加工処理と新商品開発のための工場改装工事資金	500
静岡県三島市	アルシオン	施設の改修と備品等の購入資金	500
岡山県美作市	スタート・ワーキング・サポート	農業機械の導入資金	500
広島県呉市	やすらぎ作業所	作業部屋の改修・車両の購入資金	500
熊本県熊本市東区	くまもと障害者労働センター	弁当事業拡大に向けての設備整備資金	500
大分県大分市	ジョイファーム大分	アルコール冷凍機および冷凍庫の購入資金	500

### 2. ステップアップ助成金 (上限額200万円)

単位(万円)

所在地	福祉事業所・団体名	助成対象	助成額
北海道岩見沢市	patisserie空香	カスタード自動製造機械の購入資金	200
青森県五所川原市	ワークセンターつばき	メール便配達車両の購入資金	100
宮城県仙台市太白区	わらしべ舎西多賀工房	充填機の購入資金	100
福島県郡山市	キッチンコスモス	ビニールハウス整備資金	200
埼玉県日高市	むさしの日高作業所	自動2連ドリル穿孔機の購入資金	196
千葉県茂原市	カレンズ	ドウ・マスター (パン生地発酵調整器)・焼ドーナツ用コンベクション購入資金	200
神奈川県横浜市緑区	カフェベカリーぶかぶか	電解水生成装置の購入資金	82
東京都東村山市	トーコロ青葉ワークセンター	連続帳票の断裁機購入資金	200
東京都世田谷区	パイ焼き茶房	イベント開催に必要な機材購入と設置資金	200
愛知県愛西市	ワークステーション夢んぼ	自動刺繍機の購入資金	200
愛知県長久手市	就労支援舞星ジョブ長久手	2kg釜の珈琲豆焙煎機の購入資金	200
三重県松阪市	八重田ファーム	ハウス内の高設栽培設備資金	200
大阪府東大阪市	すばらうと	自動検品ラインおよび電子個数秤購入資金	199
大阪府東大阪市	ハイワークびびき	パンノーカップシーラー機一式の購入資金	150
愛媛県八幡浜市	八幡浜市障害者施設いきいきプチファーム	マーマレード製造におけるガラス瓶用殺菌庫購入資金	150
高知県香美市	ワークセンター白ゆり	ユニフォーム仕上げ機購入資金	200
福岡県筑紫野市	さるびあ作業所	厨房整備 備品購入資金	200
福岡県糸島市	大地の恵み	製粉機・野菜カット機械購入資金	200
鹿児島県西之表市	風の街	POSシステムレジ導入資金	200

## II. 障がい者福祉助成金 決定一覧 (上限額100万円)

単位(万円)

所在地	福祉事業所・団体名	助成対象	申請区分	助成額
北海道旭川市	北海道重症心身障害児(者)を守る会	療育キャンプ(兄弟姉妹支援事業)	研修	60
宮城県仙台市太白区	仙山西多賀エンジョイライフステーション	障がい者のためのポジショニング研修会	研修	50
千葉県四街道市	千葉県アイパートナー協会	視覚障害者に対するスマホ活用技術指導に関する普及事業	研修	100
神奈川県横浜市中区	NPO法人アクションポート横浜	若者と福祉NPOのマッチングを促す「SPICE MATCH」事業	啓発	93
神奈川県横浜市港北区	キッズプランナー	親子ふれあいコンサート～ふれあい遊びが親子の笑顔を広げる～	講演会	28
東京都新宿区	認定NPO法人日本障害者協議会	国際障害者年前夜からの40年をたどり未来を展望する集い	講演会	65
東京都中央区	一般社団法人日本自閉症協会	「自閉スペクトラム症の人たちへの社会参加応援ブック」作成・発行事業	出版	50
東京都新宿区	一般社団法人日本ヒューマンビートボックス協会	ヒューマンビートボックスを使った障がい者福祉事業	講演会	60
東京都中野区	特定非営利活動法人NextSeeds	若年性認知症当事者インタビューに基づく課題可視化と社会啓発事業	調査	50
東京都武蔵野市	チャレンジャー	「就労支援ハンドブック(仮)」の出版事業	出版	60
東京都豊島区	一般社団法人全国心臓病の子どもを守る会	「心臓病児者をささえる社会保障制度」2020年版製作事業	出版	50
富山県射水市	科学ヘジャンプ・イン・北陸実行委員会	科学ヘジャンプ・イン・北陸2020	研修	55
愛知県名古屋市中区	特定非営利活動法人ドリーム	脳卒中障害者が社会参加の一步を踏み出すための講演会	講演会	50
愛知県豊田市	自立生活センター十彩	ごちゃまぜ運動会～インクルーシブ社会ってなあに?～	啓発	9
京都府京都市右京区	パッションネ	第3回難病カフェパッションネ	啓発	20
大阪府大阪市中央区	認定特定非営利活動法人ブル・ボランティア	ヘルプマーク・スイムキャップ全国無償配布事業	スポーツ	96
奈良県奈良市	自立生活支援センターフリーダム21	障害者をはじめ誰もが安心して奈良観光ができる情報提供を行う事業	出版	85
岡山県岡山市北区	スピーカース・ビューロー岡山	「こころのドアを開こう」出版事業	出版	20
鹿児島県熊毛郡	NPO法人じゃがいものうち	デフ・パペットシアター・ひとみ「河の童ーかわのわっぱ」公演実施事業	文化	74

# 卒業生14名、勤続10年4名を表彰 社会に巣立った卒業生は12年で198名に

2月1日、埼玉県の志木市民会館パルシティで(社福)ヤマト自立センターの「第12回卒業者の集い」を開催。令和元年度卒業生14名、勤続10年の4名が表彰されました。



「卒業して終わりではなく、ずっとつながっていく場を作っていきたい」と山内理事長。令和元年度卒業生一人ひとりに修了証書を贈りました



表彰された勤続10年の卒業生は4名



会場に集まった卒業生のみなさん。前列は、今年度の卒業生



スワン工舎新座・羽田をあわせて、令和元年度卒業生は14名(欠席4名)

12回目を迎える卒業生の集いに  
約120名が集まりました

今年で12回を迎える「卒業生の集い」は、(社福)ヤマト自立センターで訓練を行い、企業に就労したみなさんを「卒業生」として表彰するものです。これまでの卒業生はスワン工舎新座が179名、スワン工舎羽田が19名のあわせて198名。今回のお祝いには、歴代卒業生とご父兄を含めて約120名にお集まりいただきました。

開会にあたり山内雅喜理事長は「障がいのある人もない人も一緒に働いて、一緒に暮らせる幸せな社会を作っていこうというのが私たちの願いです」と挨拶。

卒業生は山内理事長から修了証書を受け取ったあと、会場のみなさんにお給料の使い道

や、これからの目標を披露しました。

スワン工舎新座の卒業生はアンケート方式で、最初の給料の使い方は「口座に貯金する」「食事や洋服など自分のお金で購入している」などに手が挙がりました。スワン工舎羽田の卒業生は一人ひとりコメントです。初めてのお給料で、ご両親がプロポーズしたときと同じクルーズ船のチケットをプレゼントしたというヤマトパッキングサービス(株)の加藤恭史さん。ファースト・フアシリティーズ・チャレンジド(株)に就労した伊藤洋行さんは、お給料を貯めて大好きな飛行機でお客様と遊覧飛行がしたいと話します。(株)ビジネスプラスで、お客様にコーヒーをお出しする岩崎広樹さんは、おばあちゃんと新幹線で旅行に行きたいと、会場のおばあさまに約束しました。

## 「勤続10年表彰」の目標を力に

続いて勤続10年を迎えた卒業生4名を表彰。(株)いなげやの惣菜部門でおにぎりを作っている木村聡美さんが仕事でうれしかったことは「パートのおばさんにほめられたことです」。(株)ユニクロで勤続10年を迎えるのは塩野拓也さんと肥沼宏樹さんのお二人です。塩野さんは、お給料を貯めて大きいテレビを買ったそうです。肥沼さんは10年間で休んだのは3日だけ、これからも健康に気をつけて頑張りたいと話してくださいました。

その後の懇親会では卒業生の応援団長・高橋正浩理事が「まだ表彰を受けていない人たちも、ぜひ勤続10年表彰を目指してほしい。目標があるから頑張れるんです。目標は力なんです」と挨拶。会場の卒業生たちから「頑張ります!!」と拍手と一緒に大きな声が返ってきました。

# 農業を仕事に、 成長し楽しむ 利用者さんに 「農福師」の称号を

1月31日～2月1日、滋賀県で開催された「自然栽培パーティ」第4回全国フォーラムは、ひと味違った盛り上がりを見せました。「農業で楽しく働く利用者さんを「農福師」と呼ぼう。そして自然栽培パーティ・アワードで、多くの利用者さんをみんなで表彰し讃えよう」。利用者さんを主役にする新しい試みも行われています。



「自然栽培パーティの活動が、もっと広がっていくよう今後も応援します」と山内理事長



「環境のこと、食バ物のこと、福祉のこと。自然栽培は常識を変えてくれます」と磯部理事長



自然栽培を実践する現場の写真を会場に映し出し、木村氏と佐伯顧問のトークセッション形式の基調対談に会場も大いに盛り上がりました

美味しい・安心なだけでなく  
環境保護でも自然栽培に注目

「障がいのある方が、無農薬・無肥料・無除草剤で付加価値の高い農作物を育て、地域農業の新たな担い手に」。この主旨に賛同する福祉施設などが集い、初日の琵琶湖ホテルは、定員を大きく上回る380名の来場者で埋め尽くされました。

主催者である自然栽培パーティの磯部竜太理事長は「私も最初は半信半疑でしたが、やっていると自然栽培はとても面白く、新しい発見の連続です。みなさんも挑戦してみてください」と挨拶しました。当財団の山内理事長からは「先日行われた車椅子バスケットの天皇杯、皇后杯の賞品に、みなさんが自然栽培で育てたお米を贈呈しました。選手たちは、自然の力でパワーアップできると喜んでいましたよ」と報告。来賓代表では「持続可能な社会をみんなの力で」と、メッセージの入った三日月大造(みかづきたい、ぞう)滋賀県知事のビデオレターが紹介されました。

続いて奇跡のリンゴの木村秋則氏と、愛弟子である自然栽培パーティの佐伯康人顧問の基調対談へ。

「自然栽培を実践する福祉施設は、北海道から沖縄まで全国に広がっています。私は、そんなメンバーたちのもとを巡り、それぞれの地域に合った作物の育て方を一緒に考えています。そこで度々耳にするのは、自然栽培の作物は肥料を使った野菜に比べ豊かに実るのに腐りにくく、害虫もつきにくい」との感想です。自然栽培には、本当に不思議なことがたくさん起こりますね」と佐伯顧問。

木村氏も「いまではすっかり目にしなくなりましたメダカやタガメ、さらに絶滅危惧種のトキでもが自然栽培を行う田畑に帰ってきました



パネルディスカッションでは、農福連携のこれからのあり方を、農業と福祉のエキスパート、それぞれの視点を交えながら話し合いました

た。これは、自分たちの生きる本来の環境が整ってきたからでしょう」と解説しました。

いまや自然栽培の持つ力に、欧州の環境保護先進国も注目しています。

「田畑にばらまいた肥料は、ガス化すると亜酸化チックス素というものになり、これは二酸化炭素よりも300倍強力な温室効果ガスなんです。世界中の農家を使う肥料は膨大であり、その肥料がこのガスを生み出すことを知ってください。しかし、現代の農業は、化学肥料や農薬に頼り切っていますから、農業の再生・リルネッサンスを起こすこと



自然栽培パーティ・アワードで受賞された利用者さんたち



農業を通し成長を遂げた方に「ありがとう賞」を、働く楽しさにあふれる毎日を送る方に「よかったね賞」を施設長から、一人ひとりへのメッセージとともに。賞状の他に木村氏の奇跡のリンゴも贈呈されました



ができるのは、自然栽培しかないと思っています」と木村氏は伝えました。

**自然栽培は、作物だけでなく働く利用者さんも豊かに育てる**

自然栽培で作物を育てる喜びは、働く利用者さんまでも豊かに変えてくれます。そんな成長を続ける利用者さんたちを、自然栽培パーティ・アワードでは「ありがとう賞」「よかったね賞」の2部門から計29名を表彰しました。

「どんなときも、だれよりも作物のことを一番

に考えて行動するあなたに、農業のあり方を教わりました」「猛暑も雨の日も、真冬の寒さでも1日も休まず働く、その姿勢はプロそのものです」「あなたの元気な挨拶を、地域のお年寄りも毎日楽しみにしています」「むむっ、生きているー」「ここにいるも良く通るあなたの声が聞こえてくると、周りもつい笑顔になります」「あなたがいれてくれる一杯のお茶が、疲れたみんなを心から癒してくれます」「いつも職員が気づかないことにもしっかりと目を配ってくれてありがとう」。

そんな各施設長の思いを込めた表彰状が、当日出席した13名に手渡され、会場は暖かい拍手に包まれました。

最後のパネルディスカッションには、滋賀県で革新的な農業に挑む中道農園の中道唯幸園長、農業を事業の柱に6次化も進め給料増額に成果を上げた(社福)一麦会の中原力哉所長も参加しました。

「いろいろな農法を試し、肥料は必要ないとわかってきました。自然栽培には、農業と福祉施設の可能性を広げていく大事なヒントがあります」と中道氏。

中原氏は「福祉施設が農業で成功するには、栽培技術だけでなく、人とのつながりや商売の仕組みづくりも必要」と話します。

磯部理事長は、最初は田畑を貸していただけの方を見つけるだけでも大変だったと振り返りながら「いままでは休耕地を輪転してくれる人も現れ、地域の理解とつながりはより深まっています。地域の方と力を合わせて取り組んでいける関係を目指していきたい」と来場者に呼びかけました。

翌日は、琵琶湖淡海で4つの分科会を開催。福祉施設が農業で成功する方法を、多くの参加者とともにさらに掘り下げていきました。

利用者さんの給料増額へ向かって

# 夢へのかけ橋 実践塾活動報告

新堂塾・楠元塾の二人の塾長は、見学・勉強会で全国の塾生施設を巡りながら、現場の改善点を丁寧にアドバイス。さらに塾生以外の他の職員の参加も呼びかけ、「より働きやすい効率的な仕事場とはなにか、どこをどう改善すべきか」などを全体で理解・推進できるように指導しています。



## 新堂塾：見学・勉強会（1/28・29）

### 同じ福岡県でも状況や事業も異なる3塾生施設へ生産活動の正しいあり方をベースに改善点を探る

1月28・29日、第4期新堂塾は、福岡県から参加している3名の塾生施設を訪れ、見学・勉強会を開きました。

初日は、北九州市で軽印刷とお菓子の製造販売などを行う**（社福）北九州障害者福祉事業協会「とりはた玄海園就労センター」**へ。仕事量を増やすには、どうしたら良いだろうと話す職員たち。新堂塾長は「作業の主役は利用者さんです。利用者さんの可能性を伸ばしながら給料増額を進めること。そのために作業の効率化や利用者さんがわかりやすく働くことができる職場づくりを取り入れていきましょう」と伝えました。

翌日訪れたのは、田川市でパンとクッキーの製造販売を行う**（社福）つくしの里福祉会「第2つくしの里」**です。生産現場を見た新堂塾長は「食品を扱うなら衛生管理は絶対厳守です。5Sをもっと徹底していけば、スペースも広くなり動線も良くなります」と話しました。

続いて新事業所を計画する太宰府市の**（NPO）ふくおか福祉とびうめ会**で、ペットフードの生産を行う事業所を見学。「生産活動の効率化は、作業者・材料・機械設備をどう動かすかで変わります。停滞させない流れ・管理を考えていきましょう」とアドバイスしました。



とりはた玄海園就労センター：「整理整頓など5Sを徹底すれば、働きやすい職場になり、決めたことを守る会社の風土も築くことができます」



第2つくしの里：「いまのままだと動線に無理があります。工程を再度分析し、効率をよくしていきましょう」



ふくおか福祉とびうめ会：「作業分化を見直し、どうやって行うかを、利用者さんにわかりやすく伝える工夫が大切です」

## 楠元塾：見学・勉強会（1/23・24）

### 美味しく作ることができるのだから全員で衛生管理を徹底し、食の事故を未然に防ごう

1月23・24日、第3期楠元塾で初めての見学・勉強会を二つの塾生施設で行いました。初日は、鹿児島市の**（NPO）ともいき「就労支援センターみらいず」**です。ここでは、お惣菜を大皿に盛り、バイキング形式で販売しています。

楠元塾長は「どれもとても美味しいですよ」と評価しながらも「衛生管理をどこまで理解していますか」と指摘。「お客さまがお惣菜を入れるカップなどを手に取るとき、内側に指が入らないように、上向きでなく下向きに置くべき」とアドバイス。また「検便は毎月実施、施設の当事者だけでなく出入りの業者にも提供を求めてほしい。事故が起こってからでは取り返しがつきません」と念を押しました。

翌日は、鹿児島市内にある**（社福）敬和会「就労支援センターハーモニー」**へ。ここでも衛生管理の重要性を説きながら、さらに効率的な弁当の作り方も指導。「注文が来て一からすべてを作るのではなく、卵焼きなど先に仕込みができるものは先に作りましょう。ケチャップも小さくNの字を書くようにすると利用者さんにもわかりやすくスピードもアップします。工夫を重ねることで、1日に生産できる弁当の数が変わってきます」と伝えました。



就労支援センターみらいず：「惣菜は、種類が多彩でどれも美味しく、見映えも素晴らしいですよ」



就労支援センターハーモニー：「唐揚げも煮物も持って帰りたいほど美味しいですよ。あとは調理、弁当詰め、配達まで、全体の動線を見直し効率を上げましょう」

## 新堂塾：第2回研修会（2/10・11）

### 塾長施設で開いた研修会から学んだのは 利用者さんの働く力を伸ばす働く場や支援のあり方

2月10・11日、塾生たちは新堂塾長の施設をモデルに、それぞれの課題の具体的な解決方法を学び、取り入れることにしました。

塾長の（社福）武蔵野千川福祉会には七つの事業所があり、利用者さんは能力を高めると次の事業所へとステップアップし、給料も増額していく仕組みになっています。今回はその中から「ワークイン関前」と「チャレンジャー」を見学。月額平均給料10万円を超える利用者さんの働く姿を見た塾生は、自分の施設とのさまざまな違いを発見することができました。

「利用者さんには、全体の流れと何を作っているのか、その中で自分がどんな役割を果たしているのかを知ってもらいます。働くほど、能力が上がるほど高い給料をもらえることで、仕事への意欲も増し、より成長していくこともできるのです」と新堂塾長は解説しました。

翌日は、ホテルフクラシア晴海で行われた塾生の報告に対し、新堂塾長と菅野教授が一人ひとり丁寧にアドバイス。「たとえば棚の一つ作るとどう仕事やりやすくなるかなど、目に見える形で示しながら、職員の理解を深めてください」と実践方法も交えて講評しました。



「一人ひとりの動作レベルを職員が見守り、改善指導していくことで、個人の力も全体レベルも高まります」と菅野教授



「スキルアップした利用者さんは、一人ですべてを行うセル作業もこなせるようになっています」と新堂塾長



研修で学んだ「良いこと」はすぐにやっってくださいと新堂塾長。菅野教授は、「どういことができるかという利用者像を考えて取り組んでほしい」と研修の最後に伝えました



取り組み報告では、営業強化にも取り組んでいるが成果がなかなか出ないと話す塾生も



塾長施設で、一つひとつが学びになると、塾生の真剣な表情

## 楠元塾：見学・勉強会（2/20・21）

### 仕事の進め方から職場の衛生・安全管理まで 売上を伸ばしていけるかは、支援の力次第

2月20日、熊本県熊本市の（社福）くまもと障害者労働センター「オレンジカフェ」を訪れました。ここは新しいカフェと弁当事業ができる作業場の開設を進めています。楠元塾長は「いまはまだお弁当屋さんを模索している段階です。調理も配達もつねに次の段取りを考え進めていくこと。衛生管理を利用者さんにどう伝えて徹底するか。布巾の置き場所からしっかり考え、新しいルールを作ってください」と指導。勉強会に参加した利用者さんからも、「盛り付けをするときの動きをどうすれば良いか」などと質問がありました。「新しい仕事場では得意なことも、いままでできなかったことも、職員と一緒に挑戦してください」と伝えました。

翌日は、大分県（社福）つわ蒔会「つわぶき園」へ。「お弁当は美味しくできていますが、調理場や食品倉庫など衛生面や動線などから、改善が必要ですね」と話します。また、弁当を抱えて利用者さんが階段の上り下りをしなければならない点も問題があると指摘。「まず安全に働ける環境を整えた上で、5Sを踏まえた効率的な職場へと改善してください。売上を伸ばせるか否かは、職員の支援の力次第ですよ」と他の塾生にも呼びかけました。



オレンジカフェ：「利用者さんの能力をしっかりつかんであげてください。適材適所で働けばどんどん成長しますよ」



つわぶき園：「お客さまに喜んでいただけるお弁当を作っていると思います。まずは、弁当屋としての環境を改善してください」

# 地域の魅力を詰め込んだ「究極の肉まん」

中川運河など多くの河川が走る中川区。運河沿いは交通の便の良さから鉄工所や倉庫などが目立つ一方、中西部には生産緑地がまだ残るエリアです。昭和50年に市が設けた作業所を源流とする「わーくす昭和橋」は、メディアも取り上げる絶品の肉まんを開発して平均給料25,500円を達成しています。

## Data

社会福祉法人みなと福祉会  
わーくす昭和橋  
愛知県名古屋市中川区



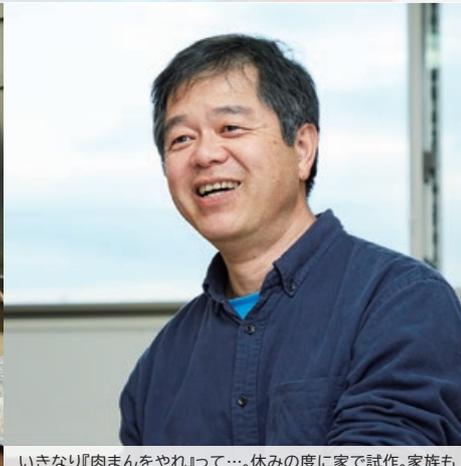
手作業で生地をのばし、一つひとつ包んでいく



肉まんの種を計量して一つずつに丸める



プロ並みのスピードで肉まんを包んでいくYさん(右)



いきなり「肉まんをやれ」って…。休みの度に家で試作。家族も最初は美味しいと言って食べていましたが…。と、岡本副所長

名古屋市中川区はじつはある野菜の日本発祥の地です。それは白菜。中国を経て、日本に白菜が入ってきたのは明治時代。しかし栽培は難しく、当時できたのは葉先が巻かないものばかり。現在見る結球した白菜の普及の陰には、この地で10年にわたって栽培改良にあたった野崎徳四郎の存在がありました。

この国産第1号「野崎白菜」で地域の活性化を目指していた「中川区ブランド野菜製品開発研究会」に、岡本さんたちは2013年に参加します。同研究会は区農政課を中心に大学や、地元のプロducerや飲食店らが集まって、野崎白菜を使った新

宿題は「ブランド野菜を生かせ」

市の作業所を2012年に「みなと福祉会が引き継ぎ、スタートした」わーくす昭和橋。当初は配食サービスを事業の柱に考えていたそうですが、いろいろと試行錯誤しているうちに、気づいたら肉まん事業がどんどん軌道に乗ってしまったんです」と副所長の岡本靖史さんは謙遜気味に語り出しました。



包み方が均一ではないのが手作りの証。「肉まんアーティスト」たちの作品として、それもまた味わいのうち



一番大きいものが、「招福カレーコーチンまん」。白いものは「招福肉まん」、緑色が抹茶あんまん、桃色は白あんが入った梅あんまん



事業所の中にある実演・販売コーナー

スパイシーなカレー餡と、とろ〜り玉子の「招福カレーコーチンまん」500円税込



助成を活用して昨年7月に導入されたドウコンディショナーで、生産力が1.5倍に

メニューの開発に取り組んでいました。「地域のそうした動きに参加することで、新しい出会いや学びがあるかもしれない」とそんな軽い気持ちで参加すると、任せられたのは野崎白菜を使った肉まんの開発でした。

### プロにはプロの技がある

半年間でなんとか形にしたものを研究会で披露すると「悪くはないが…売り物としては決定打に欠ける」との評価。素人の限界でした。しかし、研究会の仲間から「陳建一氏の兄弟子が中川区にいるよ」との話を耳にし、すぐにプロの教えを請いに向かいました。

すると「調味料にも加える順番がある。生地をこねるにもタイミングがある。素材は同じでも、それだけで全然できあがりが変わったんです！」料理人が授けてくれたコツは、料理本に書かれていないことばかりでした。

「名古屋肉まん本舗」のブランドで売り出した自慢の肉まんはこうして完成しました。

商工会議所の経営塾にも参加して、松坂屋の催事販売の売場を勝ちとったのは2015年のこと。「慣れないプレゼンに緊張しましたが、なんとかクリアしました」。気になる売上は「予想を遥かに超えて2500個ほど売れました」断トツの売れ行きでした。

じつは岡本さんには秘策がありました。経営塾で「メディアと上手につきあう」ことは大事と教わった通り、知る限りの伝手を頼って、地元テレビ局や中日新聞に取材をお願いしたのです。どちらも好意的に採りあげてくれ、これが来店に拍車をかけたのです。

とはいえ、「催事での販売は職員総出の大掛かり」。この体制はすぐとつづけられない。自分たち

の力量もよく分かりました」現在は自前のECサイト、きょうざれんやJAあいちのカタログ販売に軸足を置いて、利益率優先の営業を心がけています。

### どうせなら、注目浴びる「究極」を

松坂屋での催事を経験し、次はどこを目指そうかと考えていた岡本さんたちは翌年、県の「工賃向上アドバイザー」の派遣事業に申し込みました。そこで発破をかけられたのが究極の肉まんプロジェクトです。

「私たちもやりたいとは思ってんですけど、お金のかかることなので後ろ盾がないとちょっと動けない…」と悩んでいると、JAあいちの頒布会の注文が飛び込んできました。これならば、前から確実に注文が見込め、算盤もはじけます。

生産力も、当財団の助成を得て導入したドウコンディショナー（生地の発酵を自動化する機械）によって1.5倍に増強しました。「不思議なことに、自分たちが一歩進むと、引き合いや助けてくれる人が現れるんです」と岡本さん。

究極の肉まん「鳳凰」は名古屋コーチン以外にも素材は自然栽培でつくった県内のものを、皮もごく一部の点心師しか継承していない老麵を使って、徹底的にこだわりました。また「カレーコーチンまん」も複数の通販サイトで入賞し注目を浴びており、ナゴヤドームでの販売も打診されているとか。直営店で「できたてを売りたい」という夢もあります。

素直に耳を傾け、物事を究めてきた「わーくす昭和橋」はまだまだ話題を呼びそうです。

## 労働組合支部執行委員長 助成先訪問 Series 36

ヤマト運輸労働組合  
名古屋支部執行委員長  
西村 貴志さん



### 障がいのある方の真面目さを応援したい

彼ら、彼女たちの仕事ぶりには感心しました。発酵や蒸し時間もそうですが、計量もしっかりグラム単位で計られていました。一切の作業に手を抜くことなく、むしろ私たちよりきっちりお仕事をされているのが分かり、素晴らしいと感じました。夏のカンパで集まった善意で食品機械を助成させていただきましたが、機械化によって作業効率が上がり、利用者さんのお給料がアップすることはとても意味あることです。

皮ももちりして肉汁があふれ出す肉まんは、お世辞抜きで美味しかったです。もっと、この肉まんの存在を広めていきたいですね。



この街で、  
一緒に生きていく。



公益財団法人ヤマト福祉財団  
障がい者のクロネコDM便配達事業

# 仕事で芽生えた自信が みんなをたくましくしていく。

奈良県の北西部にある北葛城郡広陵町。JR西日本の奈良駅から車で約30分のこの町で、特定非営利活動法人つくし野会生活介護事業所「もりの実」はクロネコDM便配達事業に携わっています。緑豊かなのどかな町で、10名のメイトさんが交替でDM便を配達しています。



瓦屋根の古い家が続く美しい通りで、集合したメイトさん達。ここから3つのチームに分かれて、毎朝の配達が始まります。前列左から／最初は道に迷ったけどもう大丈夫と山中翔さん。いつも優しい笑顔の中崎英里さん。ダンスが得意な長井祥子さん。三輪車でスイスイ配達する梅本勝己さん。後列左から／ドライブが大好きな山本修平さん。山本さんと仲良しで配達でペアを組む西逸樹さん。歩くのがとても早く、健脚の尾川椋平さん。

配達を受け持つメイトさんの梅本勝己さんは、職員に勧められて仕方

## 朝の仕分けは一人 全エリア、責任を持って担当

つくし野会の上田和美理事長は、2009年の「もりの実」の立ち上げ時から、DM便に取り組みたいとヤマト運輸に申し出ていました。DM便の事業内容について知っていた上田理事長は、施設の利用者さんの仕事にふさわしいと考えていたのです。ただ、近隣エリアでは、すでに担当のメイトさんがいたので叶いませんでした。しかし、6年後。そのメイトさんが引退するタイミングでエリアを引き継ぐことに。そしてついに2015年、事業をスタートさせたのです。近隣から始めた担当地区は、やがて農地などを含む地区を加えて、3地区に。5名のメイトさんを中心に10名のメイトさんが協力して、かなり広いエリアを徒歩や三輪自転車配達しています。



いつかヤマト運輸で仕分けの仕事に就くのが夢、という梅本勝己さん。配達数が多い時は三輪自転車の後ろにDM便を積んで、二輪自転車の職員とペアを組んで配達します。

けも担当。始めてみると几帳面な梅本さんにびつたりの仕事でした。まず、3つの地区のDM便を番別に分け、ラミネート加工した地図に配達先をマーク。梅本さんが配達を担当するエリアのDM便は、番地順に並べながら、配達用のトートバッグへ入れます。梅本さんが担当し

- 奈良主管支店 広陵センター  
面積16.34km<sup>2</sup>/人口35,064人/世帯数13,230世帯
- 特定非営利活動法人つくし野会  
生活介護事業所「もりの実」  
2015年2月、クロネコDM便をスタート。1日の配達冊数は平均約50冊。他には、さをり織りの製作と販売、古紙回収など。

「障がい者のクロネコDM便配達事業」  
参入施設数 311施設 従事者数 1,545人 (2020年2月現在)  
お問い合わせは……(公財)ヤマト福祉財団 DM便担当  
TEL 03-3248-0691 FAX 03-3542-5165  
<https://www.yamato-fukushi.jp/>

※ 2015年4月1日より、クロネコメール便配達にはクロネコDM便配達へと変わりました。

ない地区のDM便は、番地区別に仕切りのついた段ボール箱に分類。それを職員がトートバッグに小分けして、配達するメイトさんに渡すという手順です。

最後に、地図にマークした配達先の件数をカウント。すべてを合計して、ヤマト運輸から届いたDM便の総数と合うかどうかを確認します。



この日のDM便は全部で34冊。流れるような仕事ぶり、あつという間に仕分け作業は終わりました。

### 地図にはポストの位置やフルネームを記入

ポストは玄関先にあるとは限りません。DM便配達を始めた当初は、

住宅のポストの位置がわからず、見つけるのに時間のかかることが多かったとか。今ではポストの位置をすべて地図に書き込んでいるため、初めてのメイトさんでも迷わずに配達しています。

また、このエリアは同じ姓が多いのですが、苗字しか書かれていない表札がよくあるため、地図にフルネームを書き込んで、間違わないよう工夫しています。一目でわかるように、番地ごとの色分けも。地図は新しい情報を書き込んで、定期的に更新。メイトさんが配達先を見つけやすいように、職員たちは知恵を絞っています。

### 仕事を通してたくましくなっていく

つくし野会の上田和美理事長は話します。「最初は、ヤマト運輸の北葛城支店のメール便リーダーの山本智之さんに2日間、手取り足取り、つきつきりで教えていただきました。



責任感も意欲も出てきていることが嬉しいと、つくし野会 上田和美理事長(右)と“もりの実”職員 山田麻稀さん(左)。悪天候の日、職員だけで配達したら、「僕たちもやるのに、できるのに」と、みんなが心配して待っていたことがあったそうです。

端末機でスキャンする音に戸惑ったり、入力しないで投函しようとしたり、ピンポンを押ししてしまったり、思いもかけないことだらけでした。

しかし、ひとつひとつ乗り越えながら約5年、DM便配達を続けてきました。今は一人一人が成長していることに気づくと言います。

「みんなが変わったのは、DM便配達で仕事の意識が芽生えたこと。たとえ上手くできなくても、仕事以外では得られないものがあります。やりたいと手をあげてくれますし、やりたい仕事をやっているという楽しさで、少しずつでも覚えていく。それになんでも“べっちゃんらだよ!”と明るい。仕事を通してたくましくなっていると感じます。」

### 配達の品質が高い任せて安心なパートナー

ヤマト運輸奈良主管支店 北葛城支店 橋本光則支店長は「この辺りは、たとえば10番台と100番台の番地が隣り合わせる古い住宅街。住所が分かりにくく、配達には難しいエリアです。そうした中でしっかりと仕事を任せては素晴らしいと感心します。」

ヤマト運輸奈良主管支店 サービスセンター 大西康司センター長は「誤配は再発させないことが重要。そのために大切なのは情報の共有です。チャットノートを作るなどの仕事ぶりに感動しました。高い品質を保っている、頼れるパートナーだと実感。」

他の事業所にも「もりの実」の事例を紹介したい」と話します。

配達していると、「おはようー」「頑張ってるねー」と町の人が声をかけてくれます。メイトさんをいつも見守ってくれていると感じる、温かさが漂う町。「もりの実」という名前が通り、まわりの人々に育まれながら、一人一人が仕事を通して実を結んでいく。そんな一日が今日も始まっています。



前列左から／“もりの実”職員 松村純一さん、山本修平さん、職員 増井伸哉さん、吉崎敦さん、梅本勝己さん、西逸樹さん、山中翔さん、尾川椋平さん、職員 山田麻稀さん  
後列左から／ヤマト運輸奈良主管支店 北葛城支店 山本智之さん、ヤマト運輸奈良主管支店 サービスセンター 大西康司センター長、ヤマト運輸奈良主管支店 北葛城支店 橋本光則支店長(3月16日付法蓮支店 支店長) 長井祥子さん、中崎英里さん、つくし野会 上田和美理事長、後藤夏代さん、職員 南浦知代さん

株式会社トラストシップ/関東・信越地域で活動する7生協が加入するコープデリ生活協同組合連合会の宅配部門として、配達業務を100%受託している会社です。雇用率：2.3%



左から工藤晃正総務課課長、加藤勇陸さん、同僚のメンバーさん、障がい者支援担当の小西由美さん

## 小さいアパートでもいいから、 自炊をして一人で暮らしてみたい

職場でスタッフから「勇陸、勇陸」とかわいがられている加藤勇陸(ゆうり)さん。夢は「一人暮らし」。お給料をしっかりと貯めて夢の実現に向かっていきます。

■ヤマト自立センター スワン工舎 就労に必要なスキルの習得はもちろん就労先の開拓からジョブコーチによる就労後のサポートまで一貫したプログラムで、障がい者の自立支援に取り組んでいます。

### 状況を判断しながら 仕事に取り組めるように成長

生協の宅配部門として組合員さんに商品の配送を行う(株)トラストシップ。練馬区にある商品の配送基地が加藤勇陸さんの職場です。総務課障がい者支援担当の小西由美さんは、障がい者スタッフと社員をつなぎ、実習の時から加藤さんを見守ってくださっています。

「採用を決めたのは、実習の時から勇陸くとな前で呼び合うほどみんなにかわいがってもらえたことです。加藤さんは、脇見をせず決められたことをきちんとやっていたので、そこは安心していきます」と小西さん。

お届けする商品を入れる器材や蓄冷材の片付け、お届け用の明細書とチラシのセット、事務所や倉庫の掃除など、加藤さんの仕事は多岐にわたります。

入社して1年半。状況判断をしながら仕事



蓄冷材を元の位置に戻し、商品を入れる器材を確認し片付けます

加藤 勇陸 さん 株式会社トラストシップ 石神井事業所(平成30年10月18日入社)

お給料で大好きなカニを食べるツアーにご両親と一緒にいたり、お母さんのお誕生日に申揚げを食べに連れて行ったり、親孝行な加藤さんです

に取り組めるようになったと小西さんは話します。

たとえば、加藤さんが器材の片付けをメインで担当する軽トラックが配達から戻ってこなくても、1.5トン車が戻っていれば、その器材の片付けに取りかかり、途中で軽トラックが戻れば、そちらに取りかかる。「軽トラックはパートナーが配達しているので、早く片付けなければならぬんです。加藤さんは、何でもハイハイというのでなく、その場の状況を判断して、優先的に仕事を進められるようになり、今は軽トラックも1.5トン車も内容の違う両方の片付けをできるようになりました。」

片付けだけではありません。各コースに飲料水やトイレトペーパーなど必要な数をバラで用意する難しい仕分けを任されるようになったといいます。「事業所でいろんな仕事の幅を広げてくれるので、これからも楽しみです」と小西さんは話します。

「みなさんから、勇陸がいないと困るよ、と言われたことが、一番うれしかったことです。この仕事を長く続けたい」と、加藤さんが話してくださいました。



チラシを折り、それを明細書にはさんでいきます。お届け先の順番を間違えてはいけない重要な仕事です

## YWF TOPICS

### クロネコDM便配達本人による特別報告会

全国に311ヵ所、約1500名の方が活躍されているクロネコDM便配達事業。地元で報告会の開催を希望する施設を公募し、2施設で報告会を実施しました。

社会福祉法人清寿会 輝望（愛知県豊橋市）



「輝望」は、約90名の参加者を集め、2月21日に報告会を開催しました。クロネコDM便配達を始めたのは2018年11月。1名の方が配達を担当しています。最初は1日10冊ほどの配達量でしたが、一年が経過し30冊以上でも安定して配達できるようになり、今では自信をもって配達しています。

報告会ではクロネコメイトさんから、配達を始めて今まで以上に体力がついたこと、近所の方に挨拶ができるようになったこと、最初は不安があったが配達することで人の優しさを感じるようになったことなどを来場者に報告しました。

NPO法人つくし野会 もりの実（奈良県北葛城郡）



2月24日に広陵町グリーンパレスで「もりの実」が約70名の参加者を集め報告会を開催しました。

2015年からクロネコDM便配達を始め、現在は10名で交代しながら1日平均50冊ほどを配達しています。

報告会では、来場者に、自転車や徒歩でクロネコDM便をポストに投入し、配達している普段の様子を実演してみせてくれました。また7名のクロネコメイトさんが発表し、最初は分からなかった家やポストの場所もだんだん覚えるようになり、今では間違えないように配達していることや、これからも配達を続けていきたいとの意気込みを伝えました。

### 皇后杯 車いす女子バスケットボール 優勝チームへ自然栽培米600kgを贈呈



財団奨学生が所属するSCRATCH(東北)との熱戦を自然栽培パーティーメンバーも応援



ヤマト福祉財団山内理事長(ヤマトホールディングス株式会社会長兼務)から贈呈

1月13日(月)神戸市立中央体育館で「皇后杯 第30回記念日本女子車いすバスケットボール選手権大会」決勝戦が行われました。優勝したカクテル(近畿)は、多くの日本代表が所属するチームです。車いすバスケットボールの公式スポンサーであるヤマトグループから、優勝チームには、「巨大しゃもじ」を目録にして、自然栽培パーティーの全国10施設から収穫したお米600kgを贈呈。会場は大いに盛り上がりました。

### カレンダー販売にご協力いただき、 ありがとうございました



山口主管支店



札幌主管支店



北東京主管支店

今年も伊東屋さま(東京・銀座)からカレンダーのご寄付をいただきました。それを各支社・主管支店で販売し、売上34万7,155円を(社福)ヤマト自立センターに寄付いたしました。伊東屋さま、ヤマトグループのみなさま、ご協力ありがとうございました。

# 神田日勝 大地への筆触

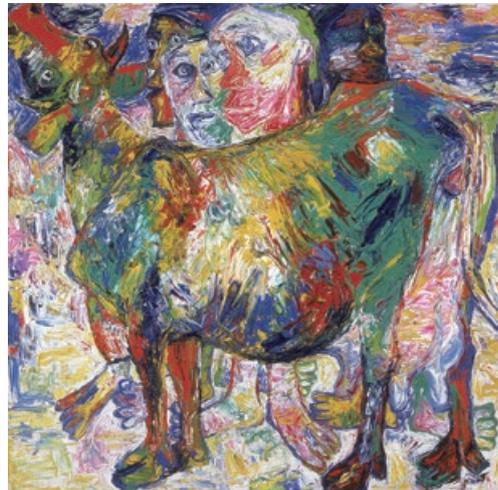
## ここで描く、ここで生きる



《馬(絶筆・未完)》1970年 神田日勝記念美術館



《室内風景》1970年 北海道立近代美術館



《人と牛A》1968年 北海道新聞社(神田日勝記念美術館寄託)

### ■ 没後50年の大規模な回顧展

神田日勝は1937(昭和12)年、東京の練馬で生まれました。日勝が7歳のとき、一家は戦火を逃れ、北海道の入植地鹿追に渡ります。日勝一家が、極寒の土地を開墾するのに、辛酸を舐めたことは想像に難くありません。兄の一明の影響で油絵を描き始めた日勝は、1953年に中学を卒業すると、農業を続けながら絵を描く道を選択。1964年、東京オリンピックの年には独立展に初入選、その後も順調に入選を重ねます。1970年、体調を崩し、最後の作品を完成させることなく、8月25日に32歳の若さで亡くなりました。本展は没後50年の大規模な回顧展になります。

### ■ NHK連続テレビ小説「なつぞら」の山田太陽のモチーフとなった画家

2019年上半年にNHKで放送された「なつぞら」の中の画家山田太陽は、神田日勝をモチーフとして生み出されたキャラクターです。

本展では、日勝の多様な画風とその展開を余すところなく伝えます。15年に満たない活動期間に日勝の画風は目まぐるしく変化。暗いモノトーンによる社会派リアリズムから、農村生活を緻密な描写で表現した時期を経て、カラフルな色彩と明瞭な形態が躍動する大画面作品、さらに最晩年の、原点に回帰したかに見える丹念な描写へと、大きな展開をしています。本展ではこの変化をつぶさに追うことができます。どうぞお楽しみください。

本展はヤマトグローバルロジスティクスジャパン株式会社が作品の輸送・展示をしています。

### DATA

- 開催期間 ▶ 2020年4月18日(土)～6月28日(日)
- 休館日 ▶ 月曜日(5月4日、6月22日は開館)
- 開催場所 ▶ 東京ステーションギャラリー
- アクセス ▶ JR東京駅 丸の内北口 改札前  
東京メトロ丸の内線「東京」駅(徒歩約3分)  
東京メトロ東西線「大手町」駅(徒歩約5分)  
東京メトロ千代田線「二重橋前」駅(徒歩約7分)
- 開館時間 ▶ 10:00～18:00(金曜日10:00～20:00)  
※最終入館は閉館30分前まで

観覧料 ▶	一般		大学生・高校生
	当日	1,100円	900円

- ※中学生以下無料
- ※20名以上の団体は4月19日～6月19日に限り、一般800円、高校・大学生600円
- ※身体障がい者手帳持参の方は当日入館料から100円引き(介添者1名は無料)

主催 ▶ 東京ステーションギャラリー[公益財団法人 東日本鉄道文化財団]

- 協賛 ▶ 柳月(北海道・十勝)
- 特別協力 ▶ 神田日勝記念美術館
- 企画協力 ▶ 北海道新聞社、北海道立近代美術館
- 問い合わせ先 ▶ tel. 03-3212-2485

- 東京ステーションギャラリー  
www.ejrcof.or.jp/gallery/
- 巡回情報 ▶ 北海道展(鹿追町)神田日勝記念美術館  
2020年7月11日(土)～9月6日(日)  
北海道展(札幌) 北海道立近代美術館  
2020年9月19日(土)～11月8日(日)

## 2021年度福祉助成金募集

ヤマト福祉財団は、利用者さんの給料増額を目指す施設のお手伝いとして新規事業の立ち上げや生産性向上に必要な設備の購入を支援する助成金と、障がいのある方々の福祉を増進するさまざまな取り組みを支援する助成金を支給しています。

### 応募期間

2020年10月1日から11月30日まで(当日消印有効)

- I. 障がい者給料増額支援助成金 助成金額 1件あたり上限500万円
- II. 障がい者福祉助成金 助成総額 1000万円(1件あたり最大50万円)

### 問い合わせ先

公益財団法人ヤマト福祉財団 助成金事務局 TEL: 03-3248-0691

